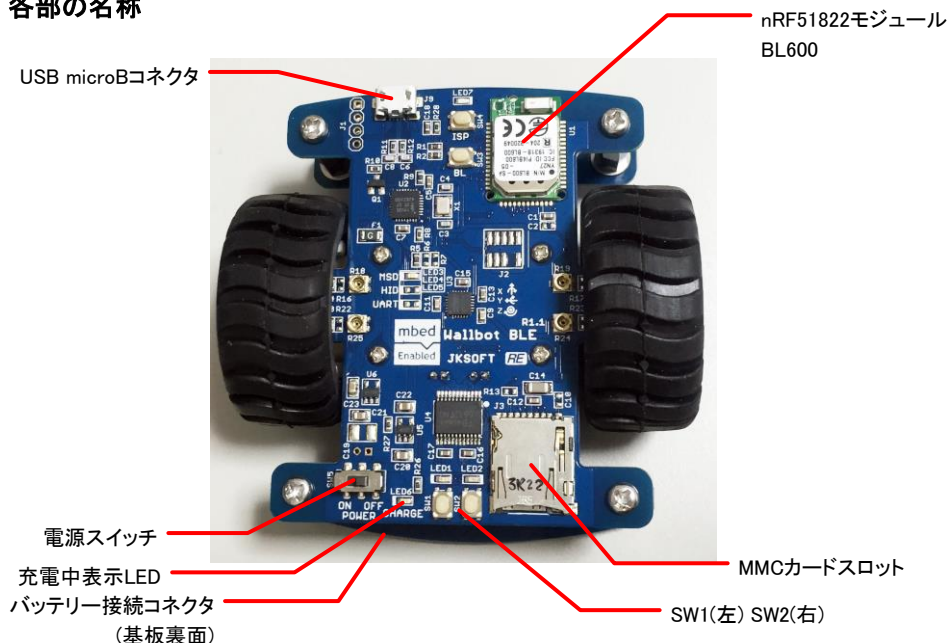


# うおーるぼっとBLE クイックスタートガイド 2014/11/23

この度は「うおーるぼっとBLE」(以下本装置)をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。このガイドではうおーるぼっとBLEを動作させるための最低限の説明が記載されています。十分に目を通して理解した上でご使用ください。

## 1. 各部の名称



## 2. iPhoneで動作させてみよう

本装置は出荷時にiOSアプリ「RCBController」で操作できるプログラムが書き込まれています。以下の手順で本装置を操作してみましょう。

- 2-1. iPhone/iPadにAppStoreから「RCBController」をインストールする。
- 2-2. 本装置の電源スイッチをON側に切り替えます。
- 2-3. 「RCBController」を起動します。
- 2-4. 画面上の十字ボタンで操作できます。またアナログモードに切り替え、左右のタイヤを独立して操作することもできます。

## 3. バッテリーの充電方法

本装置はリチウムイオンポリマバッテリーを搭載していますので、繰り返し充電して使用することができます。

充電を行うには、電源スイッチをOFF側に切り替え、USB microBコネクタにパソコンやポータブルバッテリーなどの電源を接続してください。充電中表示LEDが点灯しているときは充電中で、充電が完了すると消灯します。

リチウムイオンポリマバッテリーを充電するにあたって以下のことに十分注意し、異常があった際はただちに充電を中止してください。

1. 充電する場合は電源スイッチをOFFにし、操作をしないでください。
2. 0~30℃の範囲内の環境で充電してください。
3. 充電中はバッテリーや基板の温度に異常がないか常時確認して下さい。
4. 充電中は本装置のそばを離れず、異常が起きたらすぐに充電を中止できる状態で待機してください。
5. 充電が完了したらUSBケーブルを取り外してください。
6. 2時間以内に充電が完了しない場合は充電を中止してください。
7. しばらく使用しない場合は、満充電にせず50%程度の充電量にして、バッテリー接続コネクタからバッテリーケーブルを外して保管してください。
8. その他異常と判断すべき現象が発生したらすぐに充電を中止してください。

## 4. 仕様

サイズ: 約W80xD90xH43

重量: 約125g

電源: リチウムイオンポリマーバッテリー

搭載マイコン: nRF51822(BL600モジュール), LPC111U35(USBプログラム書き込み用)

モータ: 超小型メタルギアドモータ×2

センサ: 反射型フォトセンサx4, 6軸モーションセンサ, 温度センサ, ホイール回転センサ

スイッチ: 電源スイッチ, タクトスイッチx4(SW1/SW2/ISP/BL)

機能: USBプログラム書き込み機能, バッテリー充電機能, MMCカード読み書き機能

## 5. サポート

サポートについては以下のウェブサイトをお願いします

本装置の応用の仕方, サポート情報

うおーるぼっとBLEサポートページ

<http://wallbot.org/>

本装置の故障・修理の受け付け・各種お問い合わせ

ランニングエレクトロニクス

<http://runele.com>